

日本形成外科学会会員のみなさまへ

2021年6月
一般社団法人 日本形成外科学会
Journal of Plastic and Reconstructive Surgery
編集長 多久嶋亮彦

日本形成外科学会は official journal としての英文誌を 2022 年 1 月に発刊する運びとなりました。まず、日形会における英文誌の経緯をお話しさせていただきます。

1957 年に第 1 回の形成外科研究会が開催され、翌 1958 年に日本形成外科学会が誕生して以来、60 余年が過ぎました。その学術的発展段階において、他の診療科と同様に、日形会独自の英文誌を作りたいという願望はありましたが、まだ会員数の少ない形成外科学会では単独で英文誌を刊行する力はありませんでした。

そこで、1990 年代に波利井清紀先生が懇意にしていたスウェーデンの医師を通じて、Scandinavian journal of plastic and reconstructive surgery を、Scandinavian Association of Plastic Surgeons の official journal であると同時に、日本形成外科学会の official journal となる旨の契約が結ばれました。以来、本雑誌は Scandinavian journal of plastic and reconstructive surgery and hand surgery、その後、Journal of plastic surgery and hand surgery と名称を変え、今日に至っています。

しかしながら本雑誌は、諸処の問題により、2019 年をもって日形会との契約を打ち切ることとなりました。従いまして、学会員 5 千名を超え、基本診療科として認められた形成外科ではあるものの、専門医機構の認める 19 ある基本診療科の中で形成外科だけが正式な英文誌を持っていないこととなりました。

この状況を踏まえ、日本形成外科学会として独自の英文誌を刊行することが理事会で討議され、評議員会、総会の承認を得て、2022 年 1 月に第 1 号を刊行することが決定しました。

雑誌名は「Journal of Plastic and Reconstructive Surgery」です。Plastic Surgery イコール Aesthetic Surgery となりつつあるのが世界的潮流ですが、再建外科、創傷外科など幅広く診療を行うのが形成外科医であるとの矜持を持つべく、この雑誌名としました。

現在、発刊に向けて準備中ですが、何よりもたくさんの良い論文を掲載するのが新雑誌の使命です。そして、そのためには、形成外科学会会員の皆様のご協力が必要です。是非、自らが作り、発展させていく雑誌と思っていただき、投稿していただきたいと思います。また、会員の皆様には、編集委員として自ら名乗り出ていただいた 40 数名の先生方を誇りに思っていていただきたいと思います。

より良い英文誌にするためには、世界中から論文を集めることこそが必要です。現在、広報の一環として、各国の先生方にも編集委員になっていただき、それぞれの国からの投稿をお願いしているところです。会員の皆様にも、外国の友人などにこの新雑誌を紹介していただき、是非、投稿を促していただきたいと思います。投稿料が無料であることが魅力の一つであるとお伝えください。

今年の6月から論文を募集する予定です。一形成外科学会会員として、日本形成外科、ひいては世界の形成外科の発展のために、是非、ご協力をお願いいたします。



- ・ 投稿受付 6月より開始
- ・ 掲載料 無料
- ・ 投稿はこちらから <https://j-prs.jp/>
- ・ 英文誌 JPRS に関するお問い合わせはこちらまで jprs@kyorin.co.jp